

第3次千葉県青少年総合プラン 令和3年度事業評価シート

事業NO	126
------	-----

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物品の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。									
当初予算額(千円)		778		768		3,096		970		970
決算額(千円)	H30年度	436	R元年度	344	R2年度	1,172	R3年度	399	R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店82件、書店等232件、インターネットカフェ12件、カラオケボックス43件、その他16件、計385件(うち220件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。
 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。

(2)事業の成果

・立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。

○参考

関連指標	[有害環境の浄化] 千葉県青少年健全育成条例に基づく、立入調査の実施件数					目標	480件以上 継続
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	481件	545件	529件	440件	439件	385件	

4 委員意見

第3次千葉県青少年総合プラン 令和3年度事業評価シート

事業NO	128
------	-----

事業名	地域の防犯ボランティア活動促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	地域の防犯力向上に大きな役割を担っている自主防犯団体の活動を継続、発展させていただくため、防犯ボランティア団体の活動を支援する。									
当初予算額(千円)	H30年度	1,469	R元年度	1469	R2年度	1,469	R3年度	978	R4年度	1,230
決算額(千円)		560		508		70		679		
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から交流大会を中止し、自主防犯団体の代表者・関係者を対象に、パトロールの一助として「ちば防犯ハンドブック」を作成し配布を行った。 新設したヤング防犯ボランティア団体に対し、パトロール資機材を貸与した。 (桜林高等学校、クラーク記念国際高等学校 柏キャンパス) 地域防犯力の向上に関するアンケートの実施を行った。
--

(2)事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯団体のパトロールの一助として作成した「ちば防犯ハンドブック」が好評であり、追加で配布してほしいとの問い合わせが数多くあった。 次世代を担う学生等のヤング防犯ボランティア団体からパトロール資機材を引き続き貸与願いたいとの申請があった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から実施していた交流大会は、新型コロナウイルス感染症予防のほか、大会参加者に限らず、より多くの県民に対し、地域防犯活動等について周知する観点から廃止し、令和3年度は新たに防犯ボランティア向けのリーフレットを作成し、地域防犯力の向上に努める。 令和2年の県内の自主防犯団体の団体数は過去最高となっているが、構成員の高齢化が進み、活動が縮小している団体も少なくない。そのため、引き続きヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材の貸与を行い、若い世代の防犯ボランティア活動への参加を促進し、自主防犯団体の構成員の確保につなげる。
--

○参考

関連指標	目標					
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3

4 委員意見

--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和3年度事業評価シート

事業NO	134
------	-----

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警)生活安全総務課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	県警ホームページに掲載の「不審者情報マップ」を通じて不審者情報を提供している。									
当初予算額(千円)	H30年度	—	R元年度	—	R2年度	—	R3年度	—	R4年度	—
決算額(千円)	H30年度	—	R元年度	—	R2年度	—	R3年度	—	R4年度	—
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

県警で認知した不審者情報の発生地区・概要等(行為者の検挙・警告状況を含む。)を県警ホームページ上で情報発信するとともに、メール投稿機能を活用した不審者情報の収集を実施した。

(2)事業の成果

- ・不審者情報や声掛け事案等の発生状況を発信することで防犯意識の向上が図られた。
- ・メール投稿機能を活用して収集した住民からの不審者情報をパトロールや防犯対策の警察活動に資することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・今後も、継続的に不審者情報の発信、収集を推進していく。
- ・防犯講話・キャンペーン等を通じ不審者情報マップ・メールの投稿機能の広報を実施して、防犯意識の醸成に努める。

○参考

関連指標							目標	
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4		

4 委員意見